

本にまつわるエッセイ

本を読み返す
河崎早春

「無人島に行くときに一冊だけ本を持って行っていい」といわれたら、どれにするか？こんなことを考えたことがある。どんな面白い小説も心打たれる随筆も、そう毎日読んでは飽きてしまう。辞書か？画集か？色々考えて「俳諧歳時記」あたりに落ち着いた。季語から四季折々の情景を膨らませていけば、飽きることもないだろう。

朗読をするときには、同じ話を何度も読むことになるが、普段の読書といえど大抵一度きりのことが多い。

子供の頃、毎晩毎晩同じ話をせがんだことがある。祖母には決まって、渡辺綱の鬼退治の話。手を切り落とされた鬼が、伯母に化けてそれを取り返しに来るシーンで、なぜかこのくだりを聞くのが楽しかった。

どうして子供というのは何度も同じ話を聞きたくなるのだろうか。あまり読み返したので、気に入った絵本はボロボロになってしまった。小学生の頃は探偵小説にはまったが、これも冒険などはほとんど空で覚えてしまった。学生の頃までは、好きな本を何度も繰り返して読むことが多かったのに、気がつくくと、朗読する時は別にして、普段の読書では読んでしまった本を手にとることが少なくなっていた。

10年以上経ってから読み返すと、昔読んだ印象とはずいぶん異なっていて驚くことがある。夢中になって読んだり当時感動した本が、大人になって読むと、なんとも安っぽくて、



ものの表面しか描かれていないのに気づいたり、退屈で放り出してしまった本を、ある日読み返したら、主人公の心情が自分のことのように思えたり、当時わからなかったことが見えてくることがある。

人生の折々で、昔の本を読み返してみると面白い。同じものを読んだはずなのに、「そのときの自分」を感じる、一期一会のものになっているのだ。本を鏡として、そこに自分を照らし合わせているのかもしれない。先日ミステリーを買って読んだ。面白くてついつい寝るのを忘れて夢中になった。最後に犯人がだんだん追い詰められていく。そこでハタと気が付いた。(あれ？前にこれ、読んだことがある。)

それにしては、同じ本をまた買うぐらいならいいが、結末近くまで気づかないとは…。やれやれ、知らないうちに何度も同じものを読んでいるなんてねえ…と、シニアグラスを手に、可笑しくも寂しく思う今日この頃。

報告 NPO日本朗読文化協会 総会議事録

- 日時／平成29年6月26日(月) 13:00~13:15
- 場所／〒107-0052 東京都港区赤坂4-18-13 赤坂コミュニティセンター 4F 第一会議室
- 正会員総数／120
- 出席者数／89(内訳：当日出席者21名、委任状68名)
- 審議事項
 - 議長選出の件
 - 議事録署名人選出の件
 - 平成29年度役員選出の件
 - 会費値下げ及び定款変更の件
 - 2016(平成28)年度事業報告並びに収支決算書承認の件
 - 2017(平成29)年度事業報告並びに収支決算書承認の件
- 議事の経過の概要及び議決の結果
 - 議長選出の件、互選により城所ひとみ氏が議長に選出された。
 - 議事録署名人選出の件、議事録署名人として山村都氏および早川とし氏が選出された。
 - 平成29年度役員選出の件、新理事岩本高明氏の新任、理事早川とし氏の運営委員長辞任により理事退任しました。顧問は5名の再任および遠藤潤氏、久保谷富美男氏の2名が新任されました。
 - 正会員の年会費は平成30年4月より12,000円に値下げすること、および定款七条(入会および会費)会費分割納入の場合は半額を半期ごとに納めると改訂することが全会一致で承認可決された。
 - 2016(平成28)年度事業報告並びに収支決算書承認の件(総会資料別紙3参照)山田事務局長より配布済資料を基に、平成28年度の事業・収支決算報告がなされ、引き続き、伊澤澤理事より

- 「会計監査の結果適正でした(6月9日付け監査報告書受領済)との報告がされた。その後、全会一致で承認可決された。
- 2017(平成29)年度事業計画並びに収支決算承認の件(総会資料別紙4参照)山田事務局長より配布済資料を基に、平成29年度の事業計画並びに収支決算(経常収支は朗読の日等事業減収及びH P / F B / 協会パンフレットの投資により155万円の赤字予算となる)の説明がなされ、全会一致で承認可決された。
 - その他
 - 総会資料の追加・修正
 - ①P12. 4. H29その他の活動(3)古典朗読・学校訪問下記追加 江東区立第2辰巳小学校 10月訪問
 - ②P14. H28収支実績 3/31 個人会員数 122名=>120名
 - 出席者からの主な質問、意見等 下記のような活発な質疑応答がありました。
 - ・年会費値下げの目的、その対策が十分心配です。
 - ・会費は確かに高いと思うが、協会活動の中身を充実させることが先決
 - ・朗読コンクールは、形を変えてでも実施したい。
 - ・全国に支部設立すること提案したい。
 - ・今後運営委員会等で検討予定。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成29年6月26日

議長 城所ひとみ
議事録署名人 山村都
議事録署名人 早川とし



掲示板 会員の朗読会と活動情報(2017.8~2017.12)

日時	公演名	場所	出演者名
08月20日	日曜バラエティ	赤堤生涯学習センター	永井喜代子
09月02日	お話し会「絵本でおさんぽ」(以後毎月第一日曜日)	紀伊国屋書店新宿本店	赤間立枝・藤沼昌子・望月鏡子
09月09日	ハートストリングス語りと朗読の会	阿佐が谷ハートストリングス	内藤和美
09月09日	絵本「3粒のぶどう家族」完成朗読会	ライブハウスMADEIRA	前尾津也子・中田真由美・久木崎なお江
09月14日	朗読と音楽の調べ	八海山吟醸会	飯島晶子
09月15日	語りの会 ばてぶり	深川江戸資料館・小ホール	内藤和美
09月19日	"すずし"朗読会	ロイヤルパークホテル4F	柴田純子
09月23日	八重洲朗読会	八重洲ブックセンター本店ギャラリー	白田敦子・小川弘子・古内恵美子・松本由美子
09月23日	はごろも	横浜能楽堂	飯島晶子
09月23日	土筆の会	下北沢空間リパティ	川口和代
09月24日	第17回「語りつごう あの日 あの時」	新宿安与ホール	児玉朝・松島邦
09月25日	Tea Time朗読会7	原宿アコスタディオ	伊吹よし子・岡田久美子・中村悦子・宮塚郁子・和田幸子
09月28日	魔女たちの朗読会	阿佐が谷アートスペース・プロット	河崎早春
09月30日	木の美朗読会Vol.10	栃木県総合文化センター	青木ひろこ
09月30日	プロジェクトR No.5	アートギャラリー-Rom maai	松本由美子
09月30日	第18回朗読会「十三夜」	一葉記念館	田中邦子
09月29日~10月3日	第8回声に出す平和への祈り	港区立高輪区民センター2F展示ギャラリー	稲本由美子・白田敦子・早川とし子・松島邦・宮内佳代子・安田綾子 渡部玲子
10月04日	心の琴線に響く語りの会	平塚・八幡山の洋館	加藤敬子
10月09日	つくば朗読館	つくば市ノバホール・小ホール	内藤和美
10月10日	お昼休みコンサート	大里総合管理	吉田蘭子
10月11日	ぐるうぶ煙「夢の時間」	学士会館203号室	藤村三枝子
10月14日	Quattro Contento 朗読会	Goblin赤坂	阿部御奈・稲本由美子・三上実枝子・安田綾子
10月19日	秋・八鶴亭朗読会	八鶴亭	古内恵美子
10月19日	秋の朗読会	錦糸町テルミナ6階	永井喜代子
10月30日	子規と漱石	文京区立湯島図書館	飯島晶子・前尾津也子・中田真由美
10月31日	近代文学をたずねて	日本近代文学館ホール	坂本有子・佐々木富紀・深澤真理子・本間恵子・宮崎悠生
10月31日	第11回山本周五郎 悠日朗読会「山茶花帖」	宇都宮・ギャラリー悠日	青木ひろこ
10月下旬	秋の朗読会	葛飾区中央図書館	柴田純子
11月10日	朗読と音楽と飲茶と♪	牛久甲子亭	飯島晶子
11月14日	第5回朗読会「道」	千代田区立内幸町ホール	寺田道雄
11月18日	青山の星下がりX	千代田区立内幸町ホール	望月鏡子・池田美智恵・古内恵美子・松本由美子
11月20・21日	ぶれさんぼうず秋公演	千代田区立内幸町ホール	内藤和美
11月22日	吉田菊子 新曲発表！朗読&コンサート	東京倶楽部本郷店	吉田菊子
11月25日	一葉を語る「大つごもり」(仮)	広尾・東江寺	加藤敬子
11月29日	いきものがたりVIII	アトムC5タワー	稲本由美子
12月03日	第20回オーリブ朗読会	山武市文化ホール	古内恵美子
12月03日	ライブリーディング vol.6「ブーケ」	ホテルメトロポリタン仙台	長野淳子
12月06日	公津の杜朗読会	ユアエルム成田店3階	永井喜代子
12月09日	「あなたを変えるニューヨークの魔法」公演会&朗読コンサート	池袋コミュニティ・カレッジ	前尾津也子・久木崎なお江
12月13日	ものがたり図絵 そのVIII ~印象派~	紀尾井町ホール	渡部玲子

声に出す平和への祈り



第8回となる「声に出す平和への祈り」、今回は朗読講師連絡会が企画、制作を担当しています。9月29~10月3日までの5日間、港区高輪区民センター2Fギャラリーに於いて「ジョー・オダネル写真展&朗読会」を開催し、その中で毎日朗読会(30分)を行います。写真家であるオダネル氏は原爆投下直後の広島、長崎の様子を沢山のフィルムに収めました。その写真は平和への祈りを改めて私達に蘇らせ、問いかけてくれます。オダネル氏の思いが伝わった文の朗読を聴いて頂き、おひとりお一人の平和への思いを新たに頂ける機会となれば幸いです。多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。(早川とし子)

事務局からのお知らせ

「朗読の日」プログラムに「15年の歩み」が掲載されております。出演者、お手伝いスタッフ以外の方に同封しましたので是非ご覧ください。

★朗読アラカルト出演者募集

9月4日に出演者募集のお知らせをお送りする予定です。応募期間が短い為、出演希望者は、作品等準備をしてお待ち下さい。

★八重洲朗読会登録審査

八重洲朗読会への登録審査をご希望の方は、9月末までに事務局へお申し込み下さい。

★会員情報2017年1~7月新入会員

菅野和子・中村純子・若林京子・青木麗子・小笠原朋子・堀越幸子・山田和雄・長尾美和

編集後記

今年は梅雨明けが早く本格的な夏到来、皆さまお元気でしょうか。前任者より引き継ぎ、読者に関心をもって読んでいただけるにはと、重荷を背負い編集に臨みました。そして、最大のイベント「朗読の日」公演も無事終わり、「朗読ニュース」2017夏号を多くの方々のご協力をいただきながら、発行することが出来ました。原稿をご依頼申し上げ、お受け下さいましたの方々、本当にありがとうございます。(伊吹よし子、佐藤すみ江、早川とし子、柳瀬孝子)



NPO日本朗読文化協会

朗読ニュース

Rodoku News

2017年
夏号

15周年記念公演「朗読の日」を終えて



「もう一度聴きたい あの作品を」…という15周年にふさわしいテーマでした。舞台はシンプルで明快、照明が深さを添え、そして4つのステージの内容構成バランス。Aステージは全体として明るく気持ちよく、まず会場を惹きつけました。そして続くB、C、Dのステージ、それぞれ味も内容も力のありどころも

二日間におわたる博品館での朗読の日。両日参加しても、なかなか全てを聴くことは出来ません。一人ひとり違う朗読の世界、一部を聴いても、協会全体の力は捉えられません。その意味で今回全ての作品朗読を聴き、改めて協会の内容と力を確認できたことは幸いでした。今年の博品館公演は…

「もう一度聴きたい あの作品を」…という15周年にふさわしいテーマでした。舞台はシンプルで明快、照明が深さを添え、そして4つのステージの内容構成バランス。Aステージは全体として明るく気持ちよく、まず会場を惹きつけました。そして続くB、C、Dのステージ、それぞれ味も内容も力のありどころも

(NPO日本朗読文化協会・朗読名誉会長 加賀美幸子)



「朗読の日」も15回を無事に盛況のうちに終わることが出来て、ほんとに充実感一杯です。

毎ステージのオープニングでのご挨拶はいつもNPO朗読文化協会のことをきちんとお客様に知って頂きたい思いからさせて頂いてまいりました。

特に今回は15回目でもあり朗読の楽しさをお伝えしようと心を込めて致しました。私事ですが、4月10日に足の手術をしたのですが、この朗読の日にはきちんとステージに出られるようにこれを目標に病



今年も「朗読の日」無事終了…出演者の皆さま！そして裏方として協力していただいた皆さま！お疲れさまでした。今年は15回という節目の記念公演ということもあってか、皆さんの熱気が感じられる素敵な舞台・イベントになったと思っています。

これまでの公演で好評だったアンコール作品はやはり聞いて安心感があり、またグループ参加や企画もの作品も各ステージのアクセントとなりお客様に楽しんでいただけるステージになったのではないかと考えています。(Aステージ一部で博

2017「朗読の日」実行委員会より

15回記念公演「朗読の日」は、「今までにない素晴らしい公演」だったと多くの評価を頂きました。これは、今日までの先輩たちの歩みと、弛まぬ改善努力、そして舞台で輝いていた朗読者、舞台の大黒柱の演出家、指導の講師の先生方、大事な大事なサポートスタッフ。「朗読の日」は協会総力の結集の賜物と、改めて皆さまと共に喜びを分かち合いたいと思います。協賛ハ

院入院中からリハビリに励むことが出来ました。私は殆ど全ての朗読を拜聴してまいりましたが、年々レベルが確実に上がって来ているのを客席で嬉しく思っていて頂いております。

博品館は素人には貸さない格式ある劇場です。そのステージにふさわしい朗読であることが何よりうれしいことでした。演出、舞台装置、照明、音楽等がどれも素晴らしい、全ての朗読を生きてきたものにしていくものにしていくもの「朗読の日」ならはです。会員スタッフの皆様のお力添えにも心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

(NPO日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ)

品館の音響機材の不調があり、休憩時間にこちらの持ち込み機材に取り換えトラブルは乗り越えましたが、ご迷惑をおかけしませんでした。また、今回は閉会式で加賀美幸子さんから総括の貴重な嬉しいお話もいただき、これは会員の皆様に、是非聞いていただきかけたなと思いました。

「朗読は文化です」…これからの朗読の魅力を広め、楽しませよう!!(なお個人的な事ですが、昨年後半から体調をくずし今年の「朗読の日」の演出ができるか不安だったのですが、皆さんの熱意とご協力でもとが無事終了する事ができて嬉しく思っています。ありがとうございます。)

(構成・演出 飯田輝雄)

ウッドスタッフのメイク・ヘアや、着付け担当の岩崎三恵子さん(会員)の、作品に沿った仕上げや、朗読・動作から工夫された着付けは、どんなに舞台効果を高めたことでしょうか。こうして公演当日のスタッフ人数は延べ120名以上。公演に向けて「朗読の日」実行委員会の立ち上げから、次年度の「朗読の日」に向けての取り纏め迄、およそ10ヶ月間の道程でした。皆さまお疲れさまでした。そして、ありがとうございます。(実行委員長/山村都 早川とし子)